ゲーム概要

本作『カドゥケウス NEW BLOOD』のゲームシステムについて、その概要を簡単に紹介する。ゲームをプレイするまえに、かならず本作のシステムを確認しておこう。

1 System

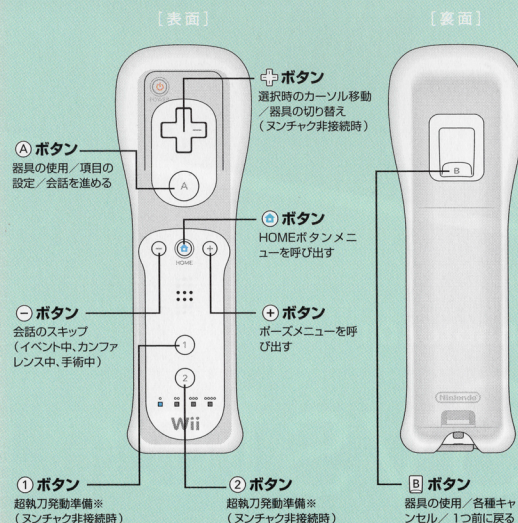
ゲームの目的とコントローラーの使い方

『カドゥケウス NEW BLOOD』は、プレイヤーが外科医となって、さまざまな病に侵されている患者の命を救うゲームである。患者は時間の経過とともに病の症状が悪化していき、そのまま放置しておくと確実に死が訪れる。プレイヤーは患者の容体に注意を払いながら、いち早く症状の原因をつきとめ患者を治療しなくてはならない。症状によっては多くの器具を扱いながら、複雑な処置をする必要もある。万に1つでも間違った処置を施さないように手術の技術を磨こう。患部の処置はWiiリモコンとヌンチャクを使って行なう。Wiiリモコンのみでも遊ぶことは可能だが、より本作を楽しむなら両方活用するといいだろう。コントローラーの操作方法と各ボタンの役割は以下のとおり。

臓器内の病巣治療をはじめ、脳の治療や銃弾の摘出など、外科手術の種類は多岐にわたる。

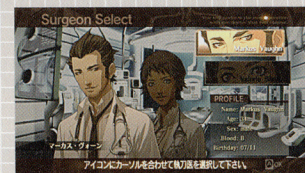
手術が始まると、助手が治療方法のナビゲートをしてくれる。助手の言葉にも耳を傾けよう。

■ 操作方法

Wiiリモコンの使い方

ヌンチャクの使い方

※エピソードが進行すると使用可能になる

主人公の選び方

このゲームでは、マーカスとヴァレリーという2人の主人公が登場する。2人の違いは、特殊能力である超執刀の効果（16ページ参照）である。手術の内容とプレイヤーの技量に応じてどちらかのキャラクターを選ぶといいだろう。ちなみにゲーム開始時2人のうちいずれかを選ぶというわけではなく、選択するのは手術の際にだけだ。選んだキャラクターによってストーリーが変化するようなことはない。

マーカスとヴァレリーのいずれかを選択する。手術の症例に合わせて主人公を選ぶといい。

未知の病原体「スティグマ」

ゲームが進むと、一般的な外科知識の範囲を超えるような未知なる病原体が現われる。患者の体内に潜んで素早く動き回る病原体や、特殊な器具で捜さないと見つけられない病原体など、過去に症例がないため、この病原体に侵されてしまった患者の手術はとても難易度が高い。ゲーム中では、そういった未知の病原体のことを総称して「スティグマ」と呼んでいる。また、奇病「ギルス」（前作『カドゥケウス Z 2つの超執刀』に登場）に侵された患者も登場する。

序盤ではスティグマに関する症例が存在していないため、手探り状態で治療を行なう。

2人同時プレイ

プレイモードを切り替えると2人同時プレイが可能になる。プレイモードの切り替えはエピソード選択画面（11ページを参照）でいつでも行なうことができ、2人用モードのデータをわざわざ作る必要はない。2人同時プレイの最大のメリットは、ゲームシステム上の難易度設定が、1人プレイ時とまったく同じということ。そのため1人でクリアできない手術でも、2人で挑戦すれば攻略はより簡単になる。

プレイモードを2人同時プレイにしても、バイタルやタイムリミットは1人プレイのときと同じ。

Wi-Fiランキングで世界一の医師を目指そう

Wii本体のWi-Fi機能が使える設定になっていると、ランキングページにクリアデータのハイスコア記録をアップデートすることができる。またアップデートすると、同時にその時点におけるトップから10名までのハイスコア記録もダウンロードされる。つまり自分のスコアが、どのくらいのレベルなのか比較することが可能というわけだ。ちなみにハイスコア記録のラインキングには、日本だけではなく海外のプレイヤーもエントリーされている。世界1位を獲得できるように腕を磨こう。

Wi-Fiランキングでは、トップ10と自分の順位の周囲10名分のリストが確認できる。